

制度と風土改革の両面で女性の活躍を支援

一人ひとりが 個性と能力を 発揮できる企業へ



当社横浜製作所の艦船改修部門での朝のひとコマ。ラジオ体操とチームミーティングで一日がスタートします。その日の仕事内容を確認し、注意事項を上司や同僚とみっちり打ち合わせ。現場に出る前の掛け声は「今日も一日ご安全に！」（久保恵美さん 写真最右、久米紗織さん 写真最左）

会社の姿勢

女性の活躍と更なる多様性の尊重

当社では、真のグローバル企業へと成長していくために、従業員一人ひとりがダイバーシティ（多様性）の推進に取り組んでいます。その一環として、「女性活躍推進プロジェクト」を立ち上げ、活動しています。活動テーマは、「女性社員数の拡大」、「育児・介護休暇中のキャリア支援」、「女性役職者の計画的な育成」、「風土醸成」の4つです。テーマ毎に具体的な施策を策定・実行していくことで、女性の活躍を推進します。

「多様性を追求するダイバーシティ・マネジメントの一環として女性活躍支援を推進するため、行動計画を策定する」という基本方針のもと、「女性管理職数の増加（2014年度比3倍）」及び「技術系採用における女性比率の維持（全体の10%）」を目標に掲げて活動しています。



育児休業者の方々への情報提供および懇談の場を提供する「育児支援セミナー」。復職への不安解消や職場復帰に向けての準備に役立てて頂いています。

社内環境

制度の充実だけでなく、制度を活用できる職場風土

社員が仕事と家庭を両立しやすい環境を整えるため、育児や介護などに配慮したさまざまな支援制度の拡充に取り組んでいます。2016年4月からは育児・介護に携わる者および妊娠中の者などを対象に在宅勤務を導入し、より個々人の事情に合わせたフレキシブルな働き方を提案しています。また、育児休業後のスムーズな職場復帰支援のための、育児休業者と育児休業経験者との座談会の定期的な開催など、制度の整備だけでなく、制度を活用できる職場風土の構築にも取り組んでいます。



船内でのお客様とのミーティングをリードする久保恵美さん。（写真中央）「お客様と社内の工作部門とをつなぎ工事を取り纏める事は困難も多いですが、大きなやりがいを感じます。外国を含む様々なお客様や船に携わる事ができるのも魅力です」

取り組んでいる会社の概要

三菱重工業株式会社

代表者：泉澤 清次（取締役社長）
所在地：東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
資本金：2,656億円
事業内容：パワー、インダストリー&社会基盤、
航空・防衛・宇宙
従業員数：14,534名
（平成31年3月時点、単独）